渡良瀬遊水地の湿地環境の保全・再生により地域振興にも寄与



- 渡良瀬遊水地は東京から60km圏内に位置し、栃木、群馬、埼玉、茨城の4県の県境にまたがる日本最大級の遊水地であり、利根川上流のダムとともに、洪水調節や生活用水の補給といった重要な役割を担っています。(2頁参照)
- 渡良瀬遊水地内のヨシ原、オギ原等には数多くの動植物が生息・生育し、チュウヒ等の 猛禽類をはじめとする鳥類やトネハナヤスリをはじめ約1,000種に及ぶ植物が見られ、 このような豊かな自然環境から、平成24年7月にはラムサール条約湿地(国際的に重 要な湿地)に登録されました。(3頁参照)
- 一方、関東地方には、コウノトリやトキをシンボルとして地域振興を進めている市町村が多くあります。例えば、栃木県小山市では、地域の活性化を図るため、遊水地を核にトキ・コウノトリをシンボルとした魅力的な地域づくりを進めており、「トキ・コウノトリの野生復帰」や「環境にやさしい農業を中心とした地場産業の推進」等の取り組みを行っています。(4頁参照)
- 国土交通省関東地方整備局では、渡良瀬遊水地を掘削し、治水安全度の向上と併せて湿地環境の保全・再生を進めてきており、平成26年10月には、遊水地上空で7羽のコウノトリの飛翔が確認されました。(5頁参照)
- 今後も、渡良瀬遊水地の湿地環境の保全・再生を進めるとともに、関東エコロジカルネットワーク推進協議会の運営を行い、地域振興にも支援していきます。(5頁参照)

洪水調節や生活用水補給を担う渡良瀬遊水地

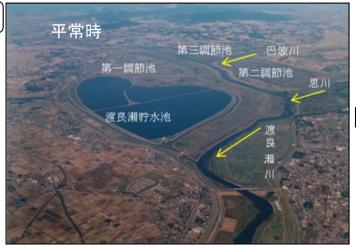


- 渡良瀬遊水地は東京から60km圏内に位置
- 栃木、群馬、埼玉、茨城の4県の県境にまたがる日本最大級の遊水地
- 利根川上流のダムとともに、洪水調節や生活用水の補給を実施

洪水調節



東京から60km圏内に位置





洪水時に遊水地内へ最大約1.7億m3を貯留し下流に流れる水量を低減



渡良瀬貯水池に貯留した水は首都圏の生活用水として供給



埼玉新聞 1990.8.8付

渡良瀬遊水地は豊かな自然環境からラムサール条約湿地に登録

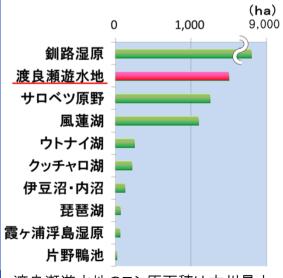
国土交通省 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Touris

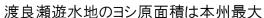
- 渡良瀬遊水地内のヨシ原、オギ原等には数多くの動植物が生息・生育
- チュウヒ等の猛禽類をはじめとする鳥類やトネハナヤスリをはじめ約1,000種に及ぶ植物が生息生育
- このような豊かな自然環境から、平成24年7月にはラムサール条約湿地(国際的に重要な湿地)に登録





3.300haに及ぶ広大な湿地









貴重な植物も数多く生育



平成24年にラムサール条約湿地に登録

コウノトリやトキをシンボルとした地域づくりを進める地方公共団体



- 関東地方には、コウノトリやトキをシンボルとして地域振興を進めている市町村が多く存在
- 例えば、栃木県小山市では、地域の活性化を図るため、遊水地を核にトキ・コウルリをシンボルとした魅力的な地域づくりを進めており、「トキ・コウルリの野生復帰」や「環境にやさしい農業を中心とした地場産業の推進」等の取り組みを実施





冬季でも鳥類の採餌場となるよう農家と 連携して田んぼに湛水 (小山市より)



(小山市チラシより)



特産品を道の駅で販売



イベントを開催し物産品を販売 (小山市より)

渡良瀬遊水地の湿地保全・再生を進め、地域振興にも寄与



- 国土交通省関東地方整備局では、渡良瀬遊水地を掘削し、治水安全度の向上と併せて湿地環境の保全·再生を推進
- 平成26年10月には、遊水地上空で7羽のコウノトリの飛翔を確認
- 今後も、渡良瀬遊水地の湿地環境の保全・再生を進めるとともに、関東エコロジカルネットワーク推進協議会の 運営を行い、地域振興にも支援



学識経験者等と連携して「渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画」を策定(平成22年3月)



計画に基づき新たに湿地を創出



湿地の創出によって良好な自然環境が形成



遊水地上空で7羽のコウノトリの飛翔を確認 (平成26年10月)



関東地方整備局では関係自治体の地域振興を支援



2014年11月4日付群馬建設新聞掲載